

岐阜県代協ニユ

平成27年3月

vol.240



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『会長挨拶』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

こんどう

しんご

会長

近藤

信悟

明治時代に作られた日常生活の「契約」に関する法律を見直す民法改正の「要綱」を（法務大臣の諮問機関）法制審議会が大臣に答申しました。

この民法改正が実現すれば120年ぶりの改正となります。

貸し借り・売買などの「契約」に関する民法の規定は明治29年の制定以来ほとんど改正されておらず、「要綱」ではおよそ200項目がその対象となります。

その目的は社会や経済の変化にあわせ消費者保護が狙いで、企業が不特定多数のお客様に契約内容を示す「約款」について「消費者が著しく不利になる内容」や「一方的な変更」を無効にしたりするものです。

①法定金利の引き下げ ②個人保証 ③時効 ④敷金が改められる予定です。

具体的に述べると、ネット売買などを視野に入れて商品に欠陥や傷が見つかった場合の対応について民法には規定がありませんので、売主に対して損害賠償や取り消しをできるように明記されるものです。

また、消滅時効も現在はその内容において1年～と内容によって違っているため、5年に延長されるようです。ただし10年原則は残ります。法律が変わることですから要注意です。

我々の業務にも少なからず関係すると考えられますので、この問題は引き続き注視するよう心がけてください。

平成27年3月6日（金）、損保会館で開催された日本代協臨時総会・全国会長懇談会、特別セミナーに参加してまいりました。総会は岡部会長の挨拶から始まり、福岡県代協の富永会長が議長に選出され審議が行われ、午後からの全国会長会議では、グループに分かれて、国民年金基金の推進と会員増強について論議いたしました。

特別セミナーでは、2月に岐阜県代協岐阜支部が先んじて訪問研修したほけんの窓口グループ（株）代表取締役会長兼社長の窪田泰彦様に『変革の時代は躍進の時代！！ 変化を友としてお客さまを味方にして勝ち抜く』と題して、消費者の意識・行動の変化、社会現象・社会構造の変化を的確に捉えたほけんの窓口グループの取組み、研修体系などについてご説明をいただきました。

続いて3月10日（火）には愛知県代協事務局において開催された平成26年度最終の会となる第4回東海ブロック協議会に参加してまいりました。27年度も損害保険大学課程受講者募集、社会貢献、代理店賠償「日本代協新プラン」の周知と加入の3つの取り組みを事業の柱に据えて活動し、会員増強と国民年金基金は特に強化したい取り組みとした日本代協の活動方針に沿い、次年度も「国民年金基金」「会員増強」「コンサルティングコース募集」の三本柱を中心に活動を行うと決定いたしました。

平成27年度も引き続きご協力お願いいたします。



目次

| | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 p・・・会長挨拶／目次 | 8 p・・・会員投稿中さんの保険諸国慢遊記（107）① |
| 2 p・・・スケジュール／事務局より | 9 p・・・～保険ジャーナリスト② |
| 3 p・・・支部活動報告① | 10 p・・・中崎章夫③ |
| 4 p・・・支部活動報告② | 11 p・・・『街道シリーズ』（中山道 31）松尾 一 |
| 5 p・・・委員会報告 | 12 p・・・提携事業者広告掲載① |
| 6 p・・・代理店検索機能情報搭載手続きのお願い | 13 p・・・提携事業者広告掲載② |
| 7 p・・・代理店紹介（飛騨支部） | 14 p・・・提携事業者広告掲載③ |
| | 15 p・・・＜栗山泰史さんの＞ 地震保険を語る⑧ |

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

| 日付 | | 主催 | 行事・議題・内容など | 開催場所 |
|----|----|--------|---------------------|---------------|
| 3 | 4 | 水 西濃 | 例会(11:30～) | 五右衛門 |
| | 10 | 火 CSR | 地震保険普及キャンペーン | 各支部 |
| | 10 | 火 岐阜 | 役員会(18:00～) | はなの舞 |
| | 10 | 火 中濃 | 例会(10:30～) | 美濃加茂市生涯学習センター |
| | 12 | 木 県代協 | 三役会(11:00～) | 県代協事務局 |
| | 12 | 木 東濃 | 例会(11:30～) | みわ屋 |
| | 20 | 金 西濃 | ボウリング大会 | 大垣ボウリングセンター |
| 4 | 3 | 金 県代協 | 理事会(13:30～) | 瑞穂総合センター |
| | 8 | 水 岐阜 | 役員会(12:30～) | 長良川スポーツプラザ |
| | 8 | 水 岐阜 | 支部総会(14:00～) | 長良川スポーツプラザ |
| | 9 | 木 西濃 | 例会(14:00～) | スイトピアセンター1階喫茶 |
| | 9 | 木 西濃 | 支部総会(15:00～) | スイトピアセンター |
| | 9 | 木 東濃 | 支部総会(15:00～) | みわ屋 |
| | 10 | 金 飛騨 | 支部総会(18:00～) | 宝松閣 |
| | 14 | 火 中濃 | 支部総会(15:00～) | 日本ラインゴルフクラブ |
| | 19 | 日 CSR | 長良川を美しくしよう運動(7:00～) | 長良川河畔 |
| 5 | 13 | 水 県代協 | 定時会員総会(13:30～) | 長良川スポーツプラザ |
| 6 | 16 | 火 日本代協 | 通常総会(10:00～) | 損保会館 |

～事務局より～

※総会日程のお知らせ

| | | | | |
|------|-------|----------|--------|-------------|
| 日本代協 | 平成27年 | 6月16日(火) | 10:00～ | 損保会館 |
| 県代協 | 平成27年 | 5月13日(水) | 13:30～ | 長良川スポーツプラザ |
| 岐阜支部 | 平成27年 | 4月8日(水) | 14:00～ | 長良川スポーツプラザ |
| 西濃支部 | 平成27年 | 4月9日(木) | 15:00～ | スイトピアセンター |
| 中濃支部 | 平成27年 | 4月14日(火) | 11:00～ | 日本ラインゴルフクラブ |
| 東濃支部 | 平成27年 | 4月9日(木) | 11:00～ | みわ屋 |
| 飛騨支部 | 平成27年 | 4月10日(金) | 18:00～ | 宝松閣 |

※ 上記、県代協総会、支部総会を都合上欠席される会員の方は必ず委任状をご出状くださいますようお願いいたします。

【正会員年会費振替のお知らせ】

平成27年 4月 22日 (水) に平成27年度 第I期の正会員年会費を口座より振り替えさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます

岐阜県代協事務局

TEL : 058-329-0050 FAX : 058-329-0040

Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当: 小川百合子)

支部活動報告

【岐阜支部活動報告】

○役員会報告

開催日時 : 平成27年 3月10日(火) 18:30～ 開催場所 : はなの舞
参加者数 : 12名 報告者名 : 鵜飼 康弘

《内容》

①2月研修旅行反省

②平成27年岐阜支部総会について

- ・日時 平成27年4月8日 13:30～ ・場所 長良川スポーツプラザ
- ・記念講演 講師 提携弁護士 演題 『弁護士による遺言と相続』
- ・懇親会会場 はなの舞 ・会費 1,000円

③会員増強、国民年金基金加入について

④県代協より報告

- ・長良川清掃ボランティア 4月19(日) 7:00～

※次回役員会 4月 8日(水) 支部総会前 長良川スポーツプラザにて

○地震保険キャンペーン報告

開催日時 : 平成27年 3月10日(火) 17:30～
開催場所 : JR岐阜駅 参加者数 : 11名 報告者名 : 高橋 励

《内容》

CSR委員会報告にて報告



【西濃支部活動報告】

○3月例会開催報告

日時 : 平成27年3月4日(水) 11:30～13:00
場所 : 大垣「五右衛門」 参加者 : 16名

報告者 : 小林 悦雄

《議題》

①委員会報告

- 企画環境 : ・保険アンケートの代償について
・大垣共立銀行の集団扱いについて
・金融庁職員を語る偽メール注意について

広報 : 日本代協認定保険代理士の新聞紙面広告についてのお詫び

CSR : 地震保険普及キャンペーンのご案内

日時 3月10日 17:30
場所 JR大垣駅北口コンコースにて
ご協力をお願い

組織 : 新入会員オリエンテーションの報告

日時 平成27年2月5日 11:00～15:00
場所 岐南町フォーカスポークス

教育 : トータルプランナー受講のお礼
予定を上回る18名様受講
会員増強のお願い

②西濃支部ボウリング大会のご案内

日時 平成27年3月20日(金) 17:30より
場所 大垣ボウリングセンター(大垣市万石) TEL 0584-81-4177

懇親会&表彰式開催場所 円相(大垣店) 大垣市今宿6-52-18 TEL 0584-73-1970

詳しくは県代協事務局までご連絡ください

③西濃支部総会のご案内

日時 平成27年4月9日(木) 15:00より

場所 スイトピアセンター学習室3-5

支部セミナー 相続について 講師 渡部法律事務所 弁護士 渡部智也先生

④その他 各社の動向

※次回 4月9日(木) 14:00～ 場所 スイトピアセンター1階喫茶

○地震保険普及キャンペーン実施報告

日時：平成27年3月10日(火) 午後5時30分から

場所：JR大垣駅 北口連絡路 参加者：6名 報告者：小林 悦雄

《内容》

東日本大震災から丸4年目を前に地震保険の普及キャンペーンを行い、チラシとティッシュの配布をしました。吹雪になり中止も検討しましたが無事終わりました。

(株)SOGOの坂さん、(株)MSG保険サービスの渡辺さん・永井さん、(有)あぜち保険事務所の畦地さん(県副会長)、中河総合保険の中河さん(CSR委員)、小林計6名。寒い中、ご協力いただきありがとうございました。(前ページに画像掲載)

【中濃支部活動報告】

○3支部例会報告

開催日時：平成27年 3月10日(火)

開催場所：美濃加茂市生涯学習センター

参加者数：参加者12名 出席率40%

報告者名：福地 誉

《内容》

①CSR委員会より、3月10日 16時から美濃加茂市山手町のバローにて、地震保険普及キャンペーンを行うことの確認。

②広報委員会より、テレビでのコマーシャル(岐阜放送)を検討中との事。

③企画環境委員会より、ディーラー向けの保険募集に関する注意文書送付の件。

その他、保険募集に関して問題と思われる案件について、委員会で確認していただく。

④組織委員会より、新入会員数の報告。3月も引き続き会員増強、国民年金基金加入推進に取り組むとの事。

⑤4月14日(火)日本ラインゴルフ倶楽部にて、11時より支部総会を開催します。後日、案内をお送りしますので宜しくお願いいたします。

⑥小規模の代理店が存続していける環境。そして若い人達がこの業種に魅力を感じてもらえる環境をどのように創り出してゆくのか。今後の大きな課題です。

○地震保険普及キャンペーン実施報告

日時：平成27年3月10日(火)

16時00分~17:00

場所：バロー美濃加茂店

参加者：11名

報告者：家田 圭市

《内容》

3月10日16時~17時に地震保険普及キャンペーンを実施しました。

今回はバロー美濃加茂店で行うにあたり、東濃支部の(株)中部保険サービス 鈴木営業部長様にご協力・ご参加いただきました。



【東濃支部活動報告】

○3月例会開催報告

開催日時：平成27年3月12日(木) 11:30~13:00

開催場所：みわ屋 参加者数：8名 報告者名：吉村 英樹

《内容》

平成27年度 東濃支部定時総会について

※次回開催日時 平成27年4月9日(木) 11:00

【飛騨支部活動報告】

○昼食例会、地震保険キャンペーン開催報告

開催日時：平成27年3月10日(火) 11:30~

開催場所：グリーンホテル9F

参加者数：12名

報告者名：熊木 千夏

《内容》

・各委員会からのお知らせ

・広報委員から ぎふチャンテレビ(フリースポット企画)の件

・昼食例会後、グリーンホテル駐車場にて地震保険キャンペーンを行いました。



委員会報告

【CSR委員会】

●地震保険普及キャンペーン報告

開催日：3月10日(火)

場所・時間：岐阜支部 JR岐阜駅前(17:30～)、西濃支部 JR大垣駅北口(17:30～)
中濃支部 バロー美濃加茂店(16:00～)、東濃支部 JR多治見駅前、JR中津川駅前(7:30～)、飛騨支部 グリーンホテル駐車場(14:00～)

参加者数：52名

(岐阜支部 11名、西濃支部 6名、中濃支部 11名、東濃支部 JR多治見駅前
JR中津川駅前併せて 11名、飛騨支部 12名、
賛助会員(株)ファブリカコミュニケーションズ 1名)

《内容》

岐阜支部、西濃支部、中濃支部、東濃支部、飛騨支部において地震保険キャンペーンを開催しました。多くの会員の皆様の参加により、素晴らしい地震保険普及活動を行うことができました。当日は県内全域で大雪が降った為、みなさんととても大変なキャンペーン活動になりました。ありがとうございました。ご協力に感謝いたします。



●「長良川を美しくしよう運動」のご案内

日時：4月19日(日) 7:00～

雨天決行

(同日6:00～TEL0180-99-3818にて開催確認できます)

※ 順延の場合の予備日は4月26日(日)

集合場所：長良橋たもとのインラインスケート場

持ち物：軍手、あれば火バサミ

※ ご参加いただけます方は県代協事務局までご連絡ください。



(報告者 委員長 高橋 励)

★トータルプランナーがいる代理店検索機能への情報掲載手続きのお願い★

損害保険トータルプランナー認定者に対して日本損害保険協会ホームページに開設された「トータルプランナーがいる代理店」検索機能について「検索機能への情報掲載の手続き」のお願いメールが昨年7月に送信されていますが、現在(3/20)岐阜県代協の会員代理店の登録は33代理店の登録にとどまっております。登録は任意ですが、損害保険トータルプランナーがいる代理店で契約したいと希望する消費者の方々が検索されるものですので積極的な情報掲載の手続きをお願い申し上げます。

情報掲載の方法は日本損害保険協会ホームページ (<http://www.sonpo.or.jp/>) のトップページ『損害保険トータルプランナーがいる代理店検索』〈損害保険トータルプランナーの皆さまへ 情報掲載方法〉より下記の手順で情報掲載ができます。

1. 入力フォーム (excel ファイル) への情報入力

『入力方法はこちら』のリンクをクリックし、ホームページに掲載する情報等を入力し保存願います。

※同一代理店内で複数の損害保険トータルプランナーが在籍している場合は、代表の方が情報掲載の手続きを行ってください。記入方法は入力フォームの入力例をご覧ください。

2. 損保協会へのメール送信

(1)メールの新規作成

『メール作成はこちら』のリンクをクリックし、新規メールを作成してください。

掲載のメール作成リンクが動作しない場合は、宛先・件名を以下の通りとしたメールを作成してください。

宛先 : boshu-k@sonpo.or.jp

件名 : 【代理店検索 (新規)】〇〇代理店 (注) 下記 (2) 参照

(2)メールの件名入力

上記(1)で作成したメールの件名の「〇〇代理店」部分に代理店名を入力してください。

入力例 (代理店名が「神田淡路保険サービス」の場合) :

【代理店検索 (新規)】〇〇代理店 → 【代理店検索 (新規)】神田淡路保険サービス

(3)excel ファイルの添付

上記 1. で情報入力した excel ファイルをメールに添付してください。

(4)メール送信

上記(1)~(3)が完了しましたら、メールを送信してください。

※損保協会にメールが到着してから、1週間以内を目処に「損害保険トータルプランナーがいる代理店」検索機能に情報が掲載されます。

情報掲載が完了しましたら、送付のメールアドレス宛に確認のメールを送信されますので、情報掲載内容の確認をお願いします。

代理店紹介

飛騨支部 株式会社 武三四 ほけんやさん

《代理店名》

株式会社 武三四 ほけんやさん

《所在地》

506-0051

高山市中山町 634 番地

T E L 0577-77-9315

F A X 0577-77-9316

E-mail office.634@hidatakayama.ne.jp

HP <http://www.sjnk-ag.com/a/office-634/main.asp>



《代表者》

清水 公男

《スタッフ》

4名 (男性4名)

《取扱保険会社》

◇損害保険 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
そんぼ24損害保険株式会社

◇生命保険 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命株式会社
第一生命保険株式会社

《略歴》

2008年8月 日本興亜損害保険株式会社 研修生として入社

2013年6月 株式会社 武三四 ほけんやさん 設立

《経営理念》

◇私たちはお客様に最高の安心と満足と明るい未来（進化）を提案します

《経営方針》

- ◇ お客様の満足をすべての基本においた経営を実践します。
- ◇ 笑顔が溢れ、活力みなぎる社風づくりに努めます。
- ◇ 保険のプロとしての業務力向上、提案力向上に努めます。



災害多発、問われる地域防災力と代理店の役割

◇田沢湖にきりたんぼ鍋

66にもなると、世にいう「高齢者」ならではの特典があるものだ。その一つJR東日本の「大人の休日倶楽部」に夫婦で加入したからということで、その特典（大人の休日10周年パス2月26日から3月10日の期間、JR東日本エリア4日間乗り放題15000円）を使い、早速冬の東北の旅に出かけた。乗車率の悪い期間年何回か、暇のある高齢者世代向けにこうした特典切符が売り出される、巧い戦略だ。旅の目的はいろいろあるが、私の場合、まず食。今回はきりたんぼ鍋と海の幸ということで、秋田・田沢湖と宮城・松島に宿をとる。初日は田沢湖畔の花心亭しらはま、平日のこの時期はシーズンオフでお客様もまばら、一面雪景色の中で田沢湖は濃紺の湖面は近寄りたさを感じさせる神秘さを秘める、かつて電源開発・農業振興がらみで1940年に、玉川からの酸性水（玉川毒水）が田沢湖にひかれ、この水質変化の影響で、クニマスなどの魚が絶滅したが、今ではダムを設け玉川の酸性水は中和の努力が続けられかなり改善してきているとか。宿で勧められた20キロの湖畔一周バス観光（たつこ像や御座の石神社などを巡る）はなかなかいい。背景には真白き秋田駒ヶ岳が聳え立つ。ナトリウム塩化物のアルカリ温泉、湯はすべすべして気持ちがいい。宿の食事では、ギバサ（ねばねばの海藻）、ひろっこ（あさつきの新芽を雪の下から掘り出して収穫したもので、シャキシャキしたネギのような食感触）、ブリ子付ハタハタ、比内鶏で出汁をとったきりたんぼ鍋、イブリガッコ、男鹿半島のムラサキウニなど秋田の郷土料理の数々を楽しんだ。酒は高清水純米大吟醸を呑む。

◇奥松島の心地よい宿

仙台経由で奥松島の松島佐勘松庵が二日目の宿。11室しかない、大人の隠れ家的な宿。東日本大震災でも高台だったことと入り組んだ地形が幸いし津波被害はなかったとか。施設の充実ぶり、スタッフの対応レベルの高さが所作の一つ一つに伝わる。館内は平山郁夫の絵をはじめ銘品・趣味のよい調度品がさりげなく飾られる。松島文庫として岩波文庫や中公新書がほぼそろえてある、だれが読むのかは別にそのこだわりぶりに驚かされる。松島の絶景、そして心地よい磯の香りには思わず息をのむ。唯一残念なのはここの風呂が温泉ではなく沸かし湯だということぐらいか。要らぬ邪魔をしないという心配り、スリッパや献立表に客の名字を入れる、細やかな配慮がある。食事は、海の幸や地の野菜などをふんだんに取り入れた素晴らしい料理の数々。酒は地元の5種の地酒の利き酒セット（浦霞禅、日高見、日輪田、一ノ蔵蔵の華の純米吟醸と大吟醸松庵＝あさ開）にする。皆美味かった。地元穴子の薄造りの洗練された旨みにはその弾力的な触感、ジワーと追いかけてくる甘旨みに舌を巻いた。ボッケ（カサゴのような魚）の白身の刺身も米油と仙台味噌につけて食べるとコリコリねっとりで極上。牡蠣プリン、椀物のフグの白子豆腐蕪の摺り流しなど手の込んだものばかり。中でも牡蠣と仙台芹、生麩、山伏茸の小鍋仕立ては牡蠣のうまみを生かしスープもエキスポ満点で納得の一品。選択で頼んだクジラのステーキもまったく臭みなく、和牛とはまた一味違う美味さであった。桜えびの釜炊き炊き込みご飯を選択して頼んだが、これまた唸るほどの美味さで、3杯御代わりしたほか、残りを夜食用のお結びにしてもらった。「お客様と松庵を結ぶお結びでございます」というメッセージ付きで部屋に届けられていた。翌朝食も、席についてからニガリを入れるという出来立ての手作り豆腐の美味さ、卓上七輪で焼いて食べる小女子餅（小女子を餅に練りこんだもの）、自家製笹かま、そして松島こうれん（ササニシキの米粉に砂糖と塩のみを使用して作られた手焼き煎餅）などをあぶって食べるものだがこれがうまい。ワカメと水菜の鍋もいい。案の定、食べ物目当ての旅行になってしまったが、これも健康あつての賜物か。

◇仙台で開催された国連防災世界会議

2011年3月11日の東北大震災から4年が経つが、被災地域の再生、あるいは今後の各地の災害への備えに、今日的なコミュニティ、人のつながりの在り方が問い直されている。

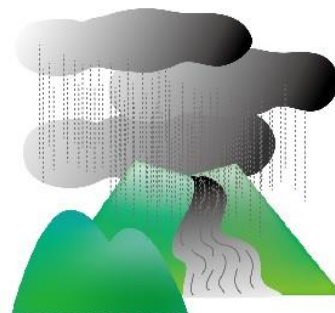
これを象徴するかのように3月14日（土）～18日（水）に世界規模で防災意識が高まる中で第三回国連防災世界会議が、被災地の宮城県仙台的仙台国際センターを主会場に開催された。（第1回は1994年横浜、第2回は2005年神戸で開催）国際的な防災の枠組みの策定を目指す国連主催の本体会議は、仙台防災枠組み2015－2030を採択した。これとは別に期間中政府機関や各種団体が主催する復興防災をテーマとした多方面のシンポジウム、展示などのパブリック・フォーラムが開催され、日本における大災害から得た教訓、防災技術、ノウハウの発信、東日本大震災の復興の発信や被災地の振興などが取り上げられた。損保関係では3月14日に損保協会主催で地震保険フォーラム「大地震の後に・・・」～見て、聴いて、話

して、大震災後も続く生活について考えよう！～というパブリック・フォーラム等を開催、東日本大震災における被災者の改めて地震災害への備え、建物のみならず家財付保の重要性など地震保険の役割を訴えるところとなった。

◇新たな局面に入った自然災害

日本各地では最近、様々な自然災害が多発しており、災害の発生の仕方も想定外のものもなっており、自然災害リスクへの備えは新たな段階を迎えていることは間違いない。台風をはじめ、大雨、洪水、土砂災害、大雪、竜巻などが日本の各地で大きな損害をもたらしている。

竜巻と言えば、筆者が今から50数年前の小学生の頃名古屋の映画館で見た「オズの魔法使い」の映画のワンシーンが強烈に焼き付いている。カンザス州に暮らす少女ドロシー（天才子役と言われたジュディ・ガーランド演ずる）が竜巻に家ごと巻き込まれオズの国に吹き飛ばされていく光景だ。米国の多雨巻き街道と言われる中西部ならいざ知らず、まさか日本で同様な竜巻による被害が出るとは思ってもみなかった。「異常気象の常態化」「ゲリラ豪雨」「爆弾低気圧」「今までに経験したことのないような大雨」など、繰り出される多様に形容された表現にも驚かされる。また地震も、引き続き各地で発生しており、桜島や阿蘇など火山活動も活発化している。



首都直下型地震や東海地震、南海トラフ地震など震度6以上、マグニチュード8以上の大地震・津波や火山の噴火災害がここ30年、50年以内の、いつ起こっても不思議でない局面になっている。損保業界でもこうした自然災害の新たな局面を桜田損保協会会長は「ニューノーマル」と名付け、自然災害リスクの分析、評価、研究、引受政策面での革新的な対策の検討を急いでいる。

◇災害もグローバル化

自然災害の新たな傾向は何も日本ばかりではない。世界的に自然災害の多発・大規模化、そして災害のもたらす人的・物的損害、経済的損害規模は年々増加するトレンドを顕著に示している。国連・気候変動に関する政府間パネル（IPCC）も今後地球規模の温暖化が進み、気温が1度～4度上昇していくと、ゆくゆくは海面が7メートル上昇しかねず、それを抑止するための地球的な対策の緊急性を提起して、各国に脱炭素のエネルギーへの転換に向けた行動計画策定と実行を求めている。

◇災害への備えの基本は自助と共助

こうした中で、自然災害の多発、多様化、大規模化には、国や地方公共団体の公助以上に、防災・減災に向け個人での主体的な備え・自助とともに地域の住民同士の共助による「地域防災力」が注目されている。地震、津波・高潮、豪雨・土砂崩れ、豪雪などでは、地域コミュニティ活動がキーとなる。

政府も、地域における住民の助け合い、地域防災力の促進に力を入れるため、各地の積極的な取り組み事例を典型化して行く方向だ。大災害では、配慮を必要とする方々をどのように地域コミュニティで素早く守っていけるか、救助はまさに時間との戦い、地域で情報をよく知る住民の助け合いの行動が肝心になるからだ。そのためにも日頃からの地域住民同士のコミュニケーション、高齢者等要支援者の安否確認、情報交流が重要になる。

◇災害時想定した都市部の空き家対策

地域における防災ではまた空き家問題がクローズアップされている。全国で800万戸以上が空き家状態。老朽化し、倒壊の恐れのある木造家屋が放置されたままであるのは新たなリスク要因ともなりかねず、国や自治体も公共の福祉と財産権のバランスを図りながらも、都市部の空き家を中心に狭い路地の道路拡張、避難路確保等防災、減災上の問題解決に重い腰を上げ乗り出しつつある。

◇安否確認に異業種提携の動き

高齢者などの要支援者の安否確認にさまざまな動きも出ている。地域住民の有事の際の助け合い活動のほか、例えば第一生命は、宅急便のヤマトと提携し、4月からヤマト運輸の配達ネットワークを活用し、ヤマトの配達員が対面で定期的に離島や山間部の契約者の安否確認をすることで、保険金の請求漏れなどの防止に役立てるといふ。今後他の保険会社も高齢顧客の保険金請求漏れをきめ細かくどのように解消してゆくか、その仕組みの整備が求められているが、このような顧客のことをきちんと把握する体制づくりは平時から求められるところとなっているが、こうした動きは災害時にも大いに力を発揮することだろう。

◇地域防災力強化と代理店の役割

地域コミュニティにおける防災力強化の動きは、地域再生の新たな可能性を問うものでもある。またそれゆえに顧客と濃密な接点を有し、地域のコミュニティづくりの推進役として、お役立ち窓口として、また問題解決支援ビジネスとしての代理店の存在価値も再確認される時代になっているのではないかと。

◇全国に広がる「高校生出前講座」

ところで、地域においては、自然災害とともに、交通災害への取り組みも注目される。現在、全国各地の代協では、若い世代と接触を持ち、クルマ社会を生きるうえでのリスクと保険に対するマインド向上を図るための独自の取り組みとして県内の高校生に向けた出前講座、「車社会に出る高校生の君たちへ」を開催。

出前講座の「最初のきっかけは、契約者の高校の教師だったこと」と発案者の砂川武司さん（富山代協専務理事）、県の教育委員会へ出向いて校長会議に出席させてもらい、講座の内容をプレゼンして、希望の高校を募るといった動きをしている県もある。平成22年12月から富山県で始まり県内9校で開催され、700名が受講。その後この講座は全国に広がり、現在16の都道府県代協で開催されている。中でも福井県では14校、2,426名の生徒が受講するまでになっている。

この出前講座については、それぞれの地元の新聞やテレビ、また業界紙でも取り上げられている。富山県、福井県では今では、講師の育成も進み若手が講師を務める機会も増えている。

◇高校3年生に防災の生きた知恵伝授

出前講座では、これから自動車免許を取得するであろう高校3年生を対象にして、パワーポイントの教材を利用し、交通事故が起きる原因や事故現場での心得、ドライバーとしての4つの責任、命の値段、高額損害賠償の例、自動車保険の仕組み、過失割合などをメニューとして用意し説明。また、自動車を運転し真っ先に直面するであろう2つの事故例を用いて、このようにならないためにはどうしたらよいかということと一緒に考えてもらう内容。



講座の目的は、1)交通事故を未然に防ぎ、2)それでも起こってしまった事故に対する対応（大人でも代理店任せの無責任な対応になる場合があるので人生の早い段階で知っておいていただきたい）3)資金手当てとしての自動車保険の役割を知ってもらうこと、4)それを伝えることが保険代理店の大きな役割のひとつだということで「保険代理業」を紹介する。

◇アンケートに表れた好反響

事前に、学校側にアンケートの記入と回収をお願いしておくことで、後日、講座を受けた生徒の素直な感想や意見などを聞くことができる。受講した生徒からは「自動車保険の必要性が良くわかりました。これから親任せにせず自分で考えようと思いました。」「これから自分は免許を取る予定なので、家に帰って親と保険の話をしたいと思います。」「現場で示談は絶対にしないように気をつけます。」などの声があったほか、教師からも「大人の私達も知らなかった。勉強になりました。」との感想をもらっている、としたうえで、砂川さんは「大人でも事故を起したことがなければそういった知識はないのが普通だろうから、あらためて私たちの仕事は専門性の高い仕事ということだと思います。」と代協での取り組みの意義を語る。

◇出前講座ニーズは続く

さらに砂川さんは、「高校3年生は毎年入れ替わるが、一度開催すると毎年開催の依頼が来るので恒例行事になっていく。教師が人事異動で他の高校に転勤された場合、転勤先の高校からも依頼され講座を開く高校が増えて行くケースもある。高校によっては、すでに自動車学校へ通っている生徒もいて、講座の際も半数くらいがすでに車社会に出る準備をしていることになるが、自動車学校では「保険の仕組み」や「過失割合」など教えていない事があって、高校の授業でも教えていない、保護者も教えることはないの、この出前講座の必要性は非常に高いと思います。」という。知り合いのPTAの役員を務めている方から、「そんな話ならぜひ子供たちに聞かせてやってほしい！このままだと何も知らないまま車社会に放り出されるから！」と言われた、とも。

生徒は、「楽しい車のある生活」はイメージできても、「万一の交通事故」の事はあまり考えてない。軽い気持ちで車社会に出ると大きな落とし穴がある。それを誰かがどこかで伝えなくてはいけない。「何かが起こる前に」1人でも多くの高校生に伝えたいと切に願ってこの活動をしています、と砂川さんは、代協での取り組みの意義を説くとともに、この高校生出前講座が各県代協に理解され、独自に取り組みされていくことを望むとともに、県代協単位の開催にむけ、開催支援も行っている。まさにクルマ社会の入り口に立つ若い世代に照準を合わせた代協の地域コミュニティ防災活動としての新たな試みがジワリ広がってきているようだ。

（保険ジャーナリスト、inswatch 編集人）

垂井宿から垂井の一里塚へ

中山道は相川橋を渡ると垂井宿に到着します。現在でも当時の面影が色濃く残る町並みが続きます。これだけ風情が残る宿場は、岐阜県の中山道の旧宿場町の中では最大級だと思われます。

こんな町中にひっそりと「紙屋塚」があり紙屋神明が祀られています。実は、かつて、朝廷が設けた美濃国の紙屋（製紙の技術養成所）がこのあたりにあって、中国から伝播していた製紙の技術を指導、養成していたところでした。室町時代まで存在していたといいますが、ここから、揖斐川、長良川などの流域に伝わり、やがて「美濃和紙」として全国に知られて行きました。そして現在、ユネスコ無形文化財遺産に登録されている、世界に誇る美濃和紙へと発展していったのです。つまり、垂井の「紙屋塚」は美濃和紙発祥の地だったのです。美濃和紙関係者にとっては、聖地的な存在ですが、もう少し脚光を浴びてもいい場所だと思います。

そんな垂井宿の中ほどに大きな常夜灯と大鳥居があります。金属の神様南宮大社を案内するもので、この鳥居から南に進むと南宮大社に至りますが、その途中に垂井の地名に由来する「垂井の泉」があり、現在でもケヤキの大木の根元付近からコンコンと泉が湧き出ています。



その傍らに「葱（ねぎ）しろくあらひ上堂（あげた）る寒さ可難（かな）」の句碑があります。これは芭蕉が元禄4（1691）年、ここを訪れたおりに詠んだ句で、地元の人が、この泉で葱を洗っている情景を表現しています。

垂井の泉を南に進むと美濃一宮の南宮大社があります。南宮神社は、古くから金属の神様として崇められてきました。このあたりはかつて鉄に関わる集団が住んでいたといわれており、赤坂（大垣市）、関（関市）と移っていた刀鍛冶の祖の地だといわれています。また南宮神社の近くの真禅院は、かつて南宮神社にありましたが、明治初期の排仏毀釈によって廃寺にされそうになったおりに、時の僧侶や地元

人々の尽力で現在地に移転したのです。

さて、中山道に戻り大鳥居を西に進むと本龍寺があります。元禄4年、江戸に帰る芭蕉が泊った寺で、「作り木能（の）庭をいさ免（め）る志（し）ぐれ哉（かな）」の句碑と芭蕉の木像がみられます。

中山道は、垂井宿を離れJR東海道本線の踏切を渡ると、やがて垂井（日守）の一里塚に到着いたします。

※前回、「平野御坊」は「平尾御坊」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

（まつお・いち） ライフワークは地域史(近世交通史)。
監修に『岐阜 地理・地名・地図の謎』（実業之日本社）がある



創業50余年。実績でお応えいたします。

株式会社 **ゴトウ自動車ガラス**

自動車ガラスのコトならプロにおまかせ!!

くるまのガラス 救急隊!!

フロントガラスを取り替えるなら、
当社オススメ、夏も冬も大活躍。燃費もよくなります。
エンジェルガード/クールベール



**見積無料
出張サービスOK**

ガラス交換
ガラスリペア
カーフィルム
カッティングシート
ウォータースポットとり



日本自動車ガラス販売施工事業協同組合

JAGU認定
国土交通省支援試験 一級取得
(JAGU:日本自動車ガラス販売施工事業協同組合)



看板制作も承ります。
フルカラーのインクジェット印刷からカッティングシートまでご利用目的により、デザインから取付までお任せ下さい。

詳しくはホームページで
<http://www.gag-jp.com>

■本社 岐阜県多治見市池田町2-48
TEL:0572-22-0175
FAX:0572-23-3510

■多治見店
岐阜県多治見市池田町1-41
TEL:0572-22-0175 (代)
(TEL対応可能)
FAX:0572-23-3510
営業時間 8:30~18:00
日・祭日 9:00~17:00

■美濃加茂店
岐阜県美濃加茂市本郷町6-116
TEL:0574-25-2390
(TEL対応可能)
FAX:0574-25-1710
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■恵那店
岐阜県恵那市大井町宮之前1116-36
TEL:0573-26-2611
(TEL対応可能)
FAX:0573-25-4183
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

■高山店
岐阜県高山市下切町169-2
TEL:0577-33-4306
(TEL対応可能)
FAX:0577-33-4307
営業時間 8:30~18:00
定休日 日・祝日定休

現場から 急ぎで移動 (有) イブカ

車のトラブル なんでも 365日・24時間
いつでも すぐにお電話1本で すぐに駆けつけます!

岐阜県損害保険代理業協会 会員様の お客様に万が一事故故障等が発生した際には
レッカーロードサービス専門会社 有限会社イブカをご用命ください。

24時間ロードサービスダイヤル

至急GO!! レスキュー



0120-495-039

Tel 058-393-2524 Fax 058-388-7301

岐阜本社 岐阜市柳津町南塚 4丁目 249
岐阜本荘営業所 岐阜市敷島町 9丁目 1-1
岐阜羽島営業所 羽島市足近町 3丁目 634-1
岐阜笠松営業所 羽島郡笠松町門間 702-1

< 今月の復旧事例 > 花壇復旧工事



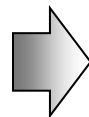
レンガ積み構造の花壇に車がぶつかり、レンガ全体が破損及びずれてしまいました。
植木を出し、土を出してから、もう一度レンガの積み直しをして、土を入れ植栽も植え直しました。

< 場所 > 岐阜市地域

< 費用 > ￥330,000- (税込み)



施工前



施工後

岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の

ホームステップ (株)イケダ

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

情報ツールとして【クルマの下取り・買取りサービス】をご活用ください！

★★★ ディーラーの査定とは違い、実際の中古車取引相場で査定します。

車によっては、年式・キヨリに関係なく需要があり、大きく金額に差が出ます！ ★★★

【 お客様のこんなときにご利用ください！ 】

- 車の乗替を検討 : 下取り額が納得できない。下取り額は妥当なの？
⇒ 「ディーラー下取りと比較してみてください！」
- 売却だけ検討 : どこに売れば？ 高くて信頼できる会社に売りたい！
⇒ 「賛助会員のJCMにお任せ下さい！」
- ディーラーでは値が付かない・・・ : 引取費用が掛かると言われた。
⇒ 「古い車や事故車でもまずはご相談ください！」



【 岐阜県損害保険代理業協会 賛助会員のJCMなら安心満足！下取りよりもお得 】

- ・ 宣伝・店舗等運営コストを抑えて買取り価格に還元、**高価買取り**を致します。
- ・ **無料出張査定**で手間や費用発生の心配がありません。ご指定場所まで訪問します。
- ・ **中古自動車認定査定士** (当社社員) が査定にお伺いし、対応いたします。
- ・ 売却を急かしたりせずお客様のご都合・代替のタイミングに合わせて対応します。
- ・ 車両代金は**現金決済も可能、名義変更手続きも無料で確実**に行います。

■■ 株式会社JCM名古屋支店 ★担当 村瀬・安藤 まで ■■

TEL: 052-561-8899 / FAX: 052-561-8893 HP: <http://www.jcmnet.co.jp/daikyo/>

24時間・年中無休の安心対応。Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635 営業所 京都・金沢・名古屋

E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

DRPネットワーク株式会社が ご提供する「安心サービス」

5つの特典

- 1 引取・納車の作業が無料**
車庫内に引取納車の作業工賃は無料です。
- 2 代車が無料**
加盟店にてお客様の代車をご利用しています。
- 3 修理終了後ワシオン保証書を発行**
- 4 保険を使わない修理は工賃10%割引**
- 5 钣金・塗装修理 300円OFF**
ANAマイル プレゼント

**事故車の対応・修理は
トップネットワークのDRPネットワーク
加盟修理工場におまかせください。**

TEL / 携帯緊急連絡先

| | | |
|----------|---|---|
| A | (有)オートライフ 〒504-0815 各務原市蘇原東栄町2-62 | 058-371-8288 前川 貞男 090-3159-6615 |
| B | ケイズモータース 〒500-8263 岐阜市西部新所3-250 | 058-276-8533 河村 健太郎 080-4215-4477 |
| C | BP MORIKEI 〒501-3956 関市保明1631 | 0575-28-2284 森 敬 090-8335-5603 |
| D | (株)大原自動車工業 〒500-8288 岐阜市中鷺2-107 | 058-271-5704 大原 孝司 090-1413-6630 |
| E | (有)高山自動車钣金 〒506-0004 高山市桐生町3-160 | 0577-32-2617 新井 典仁 090-8958-4967 |
| F | (有)大光塗装 〒501-6016 羽島郡岐南町徳田7-40 | 058-278-7505 武藤 勝也 090-3258-5908 |
| G | 三和钣金(有) 〒509-5116 土城市肥田浅野矢落町1-2-4 | 0572-55-3180 伊藤 貴弥 090-4112-5330 |
| H | 萩原自動車钣金(有) 〒509-2518 下呂市萩原町上呂2295 | 0576-54-1111 霜出 英志 090-1296-9560 |

DRPネットワーク株式会社

〒125-0053 東京都葛飾区鎌倉 3-18-1
TEL:03-3673-5552 <http://www.5552.co.jp/>

日本全国対応 フリーダイヤル ハ ヤ ク ナ オ ス

0120-849704

●上記フリーダイヤルにご連絡いただければ、最寄りの弊社加盟店よりお引取りにうかがいます。

地震保険を語る (第八回) 長い長い「ゾウの時間」

生物学者の本川達雄氏が書いた「ゾウの時間ネズミの時間」という本がある。とても感動的なのだが、保険にも生物と同じように時間があるなら、地震保険の時間は、間違いなく長い長い「ゾウの時間」だ。

前回書いた地震保険の仕組み(二つの貯金箱)について、具体的にイメージを見てみよう。出所は2011年9月8日、政府の地震保険特別会計に関するワーキンググループでの検討の際に使われた資料である。

貯金箱のお金(以下では「お金」という)は、毎年地震保険料が新規契約や契約の更新によって1000億円ずつ追加で入ってくるとして、次のように変化する。

1966年の地震保険誕生以来貯まった「お金」は2.4兆円あったが、2011年の東日本大震災により、1.2兆円に減少した。この「お金」は、その後の毎年の地震保険料によって回復し、2041年には3.9兆円となる。しかし、ここで発生する東海3連動地震によって▲0.3兆円にまで落ち込み、政府から赤字分の0.3兆円を借り入れる。その後、借入れを返して、2061年に1.5兆円まで回復した後、首都直下型地震によって▲1.5兆円となり、これも政府から借り入れる。さらに、2143年に5.9兆円まで回復した後、関東大震災の再来によって0.4兆円となる。以下、この資料では、2491年までの期間、大きな地震の度に大幅に減少し、そしてその後に回復していく「お金」の動きが折れ線グラフで掲載されている。

もちろんこれは単なるイメージで、実際にこのとおりになることはない。言いたいことは、地震保険は、他の保険のように単年度の保険会社の決算に決して馴染むことのない、長い長い「ゾウの時間」の中で運営されているということだ。そして、実のところここには一円も税金が投入されていない。借入れ部分も地震保険料から返済する。つまり、地震保険制度は、地震保険の加入者が負担する保険料のみによって運営される、完全に「自助」の制度なのである。

(文責個人) 栗山泰史/日本代協アドバイザー、丸紅セーフネット(株)、損保協会シニアフェロー

編集後記

2月の27日(金)に中日新聞朝刊にて損害保険トータルプランナー広告が掲載されました。見開きの全面広告なのでインパクトも大きく多くのお客様や友人、隣人の方々からたくさんのお返事をいただきました。また、今回は昨年より顔写真も大きくなり、各所属支部も色分けするなど年々改良されております。来年度も一般消費者へ岐阜県代協の活動や会員代理店を広くアピールできるよう広報機関紙委員会で活動していきたいと思っております。

(安江 努)

発行日/平成27年 3月25日 責任者/近藤信悟 発行/広報機関誌委員会

〒501-0204 瑞穂市馬場春雨町 1-50-2 Tel 058-329-0050 Fax 058-329-0040

E-mail: gfdaikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】 大沢 基樹、北村 篤俊、加藤 木孝、水川 博之、安江 努、熊木 千夏、
近藤 信悟、森 信彦